



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2020-2021年度 第10週報 No. 2120 2020年(令和2年)9月25日 第2120回 例会記録 10月2日発行

本日〈10月2日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ◆ 献立 週替わり弁当
- ◆ 卓話 「米山記念奨学事業と米山梅吉」
地区米山記念奨学委員会 委員長 齊藤 正彦 様
(紹介者 米山記念奨学委員長 清水 茂夫 会員)



写真提供 小池 将夫

司会 友添 辰哉 副幹事

点鐘 山本 芳弘 会長

斉唱 「手に手つないで」

四つのテスト 茂木 知子 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 中谷 吉隆 様(ゲストスピーカ)

幹事報告 田口健太郎 幹事

- ・次週、例会後に『社会奉仕・職業奉仕によるクラブフォーラム』を開催致します。大勢の参加をよろしくお願致します。

誕生日祝 田口健太郎 会員 (9月29日)



2020-2021年度 RI 会長 ホルガー・クナーク



ロータリーは機会の扉を開く

第2590地区 ガバナー 吉田 隆男

会 長	山本 芳弘	会 計	白井 康夫
会長エレクト	小山市 康	副 会 計	渡邊 淳
副 会 長	赤堀 和人	S A A	佐藤 勝彦
副 会 長	植田 清司	副 S A A	古澤 一憲
幹 事	田口 健太郎	副 S A A	月山 勇
副 幹 事	友添 辰哉	クラブ会報	池田 広樹

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

委員会報告

会員増強委員会 委員長 加野 亮一

神奈川県R CのLINEグループを作成しました。LINEを使われている方は加野にお話ください。グループにご招待します。会員の減少や風通しのよいクラブを作る為に効果があると思っています。よろしくお願いします。

国際奉仕委員会 委員長 矢野 修二

2020-2021年度の国際大会が、台北にて2021年6月12日（土）～16日（水）まで開催され、開会式は6月13日（日）に行われます。今回、日洋航空様に全6コースのプランを用意して頂きました。事務局にパンフレットを取り寄せてございますので、ご興味のある方は、事務局へお尋ね下さい。

出席報告

横溝 亘 出席委員長

会員総数	51名	(31+20)名	
出席会員数	39名	(26+13)名	
出席率	88.64%		
ゲスト	1名	ビジター	0名
前回補正後	93.48%	前々回補正後	95.56%

スマイルボックス 古澤 一憲 副SAA

田口健太郎君 誕生日祝い、ありがとうございます。

山本芳弘君 ①11:00～PP会ありがとうございました。②中谷吉隆様、本日の卓話よろしくお願い致します。

石川正三君 今日の卓話は83歳のフリーカメラマン、中谷吉隆さんです。ご清聴のの程を・・・。

月山 勇君 寒くなりました。

山本 登君 秋です。

伊東英紀君 涼くなってきました。皆様、身体に気を付けて。

角田伯雄君 先週は欠席しました。誕生日祝い、ありがとうございました。

茂木知子さん 「菅総理大臣は奥様を尊敬し、敬語で話す」というテレビの話聞いて、主人に「見習いなさい」と言いました。夫は色めき立って「うきのくせに」と言いました。「うき」とは、私のお腹の脂肪が浮き輪みたいという例えだそうです。夫は私をへこませようとするのに「うき」という言葉が最適と思っているらしい。私は全然へこたれないのに。

9月の葉山の海岸。

コロナの影響で、静かな渚で我が子と遊ぶ母子の姿。静かな秋の到来を感じさせられる光景でした。

【写真提供 小池 将夫 会員】



岡部雄一郎君 中谷吉隆様、本日の卓話、写真・俳句共に楽しみにしています。よろしくお願いします。

加野亮一君 寒い！！会員増強のために見学者の招待、よろしくお願いします！！

北村大輔君 中谷様、ようこそ。本日の卓話、楽しみにしております。

2018-19年度会長 天野公史君・幹事 金森欣一君 先週は、例会の貴重な時間を使って直前会長・幹事の慰労会を開かせて頂き、ありがとうございました。残金をニコニコへ入れさせていただきます。

9月25日	12件	27,770円
本年度累計		414,770円
年度目標進捗状況		-2.1%

「フォト俳句」は極楽アート

フリーカメラマン 中谷 吉隆 様
(紹介者 石川 正三 会員)



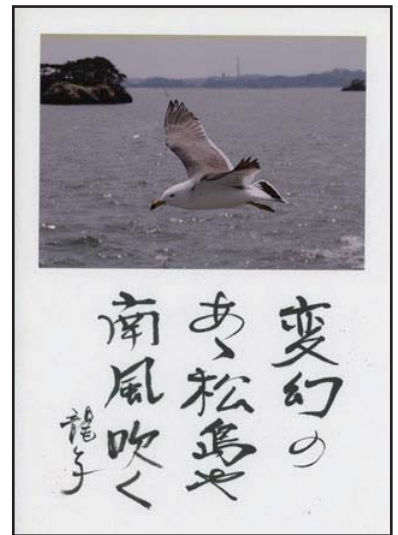
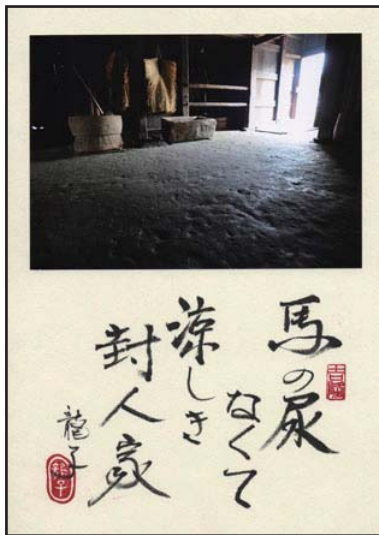
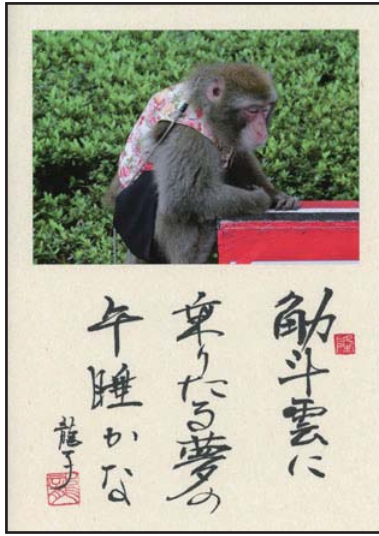
一枚の写真と一つの俳句をコラボレーションすることで新しい表現の世界が生まれ、私は「極楽のアート」だと思っている。

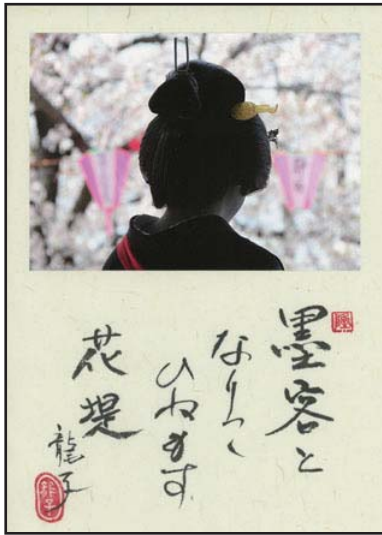
写真は事物、現象などの情景の一瞬を画像に定着し、俳句は五七五とわずか十七音で情景を詠む。お互いに独立した表現だが、今を写し、今を詠むという共通点を持ち、写実、写生という客観描写にとどまらず、心象、心情、感情表現をも可能にしている。

先に写真があり俳句を考える、俳句に写真を付ける場合、また撮影の現場や俳句の吟行先でイメージが湧き、双方を作り上げるとケースは様々。作句では有季定型（季語のある五七五）、季重ねにならないことが原則。コラボレーションでは、写真の説明的俳句にならない、また俳句の説明的写真にならないこと。写真と俳句を「不即不離（ふそくふり）」即ち、付かず離れずの関係にすることで、響き合いが生まれてくる。しかし、あまり離れすぎでは判じ物となるので注意が必要だ。また写真と俳句の季節が異なるとは違和感が生じる。

写真の内容、俳句の季節や句意のエッセンスがかすり合うといい。まずは写真と俳句の補足関係である「足し算」から始め、双方の力による「掛け算」となればより響き合いが大きく、深み、面白味、滑稽味がある作品誕生となる。

作品の制作においては、手漉きの和紙に写真を貼り、俳句は自己流だが墨書する。これは風合いや味わいを大切にしていることで、写真、俳句、墨書による三位一体の達成感が持て、3D効果も出て「極楽のアート」となるからである。





墨客と
なまめく
ひねます
花堤
龍子



白湯まぶ
青磁の
茶碗
春の雨
龍子



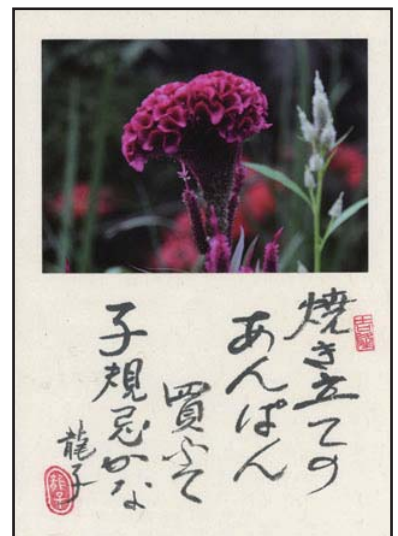
浅草に
ジッと聴く
寔法記念の日
龍子



色町を
一徹にして
荷風の心
龍子



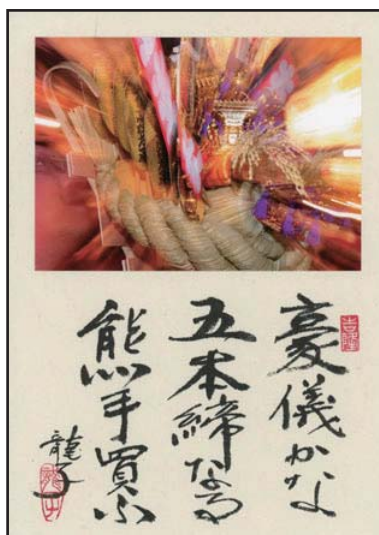
花は葉に
小倉
あんぱん
喰うてぬる
龍子



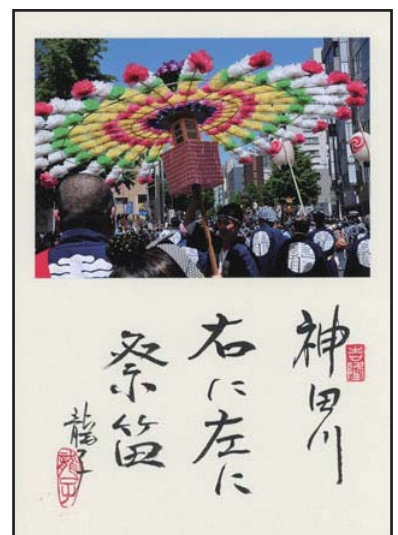
焼き立ての
あんぱん
買ふて
子規忌の日
龍子



曾くは
芸の道なり
去年今年
龍子



豪儀かな
五本締り
能心手買ふ
龍子



神田川
右に左に
冬糸は
龍子



中谷吉隆 フォト俳句作品集
極楽のアート
日本歳時記-新年・春・夏・秋・冬

定価 本体1000円+税

次回〈10月9日〉の予定

「米国大統領選挙から何を学ぶか？」

—米国の現状と日本への影響—

(一財) 経済広報センター 常務理事 山越 厚志 様

(紹介者 石川 正三 会員)